

千葉県における医師数とその動態

2013年4月9日

千葉大学医学部附属病院

千葉県寄附研究部門 高齢社会医療政策研究部

井出 博生



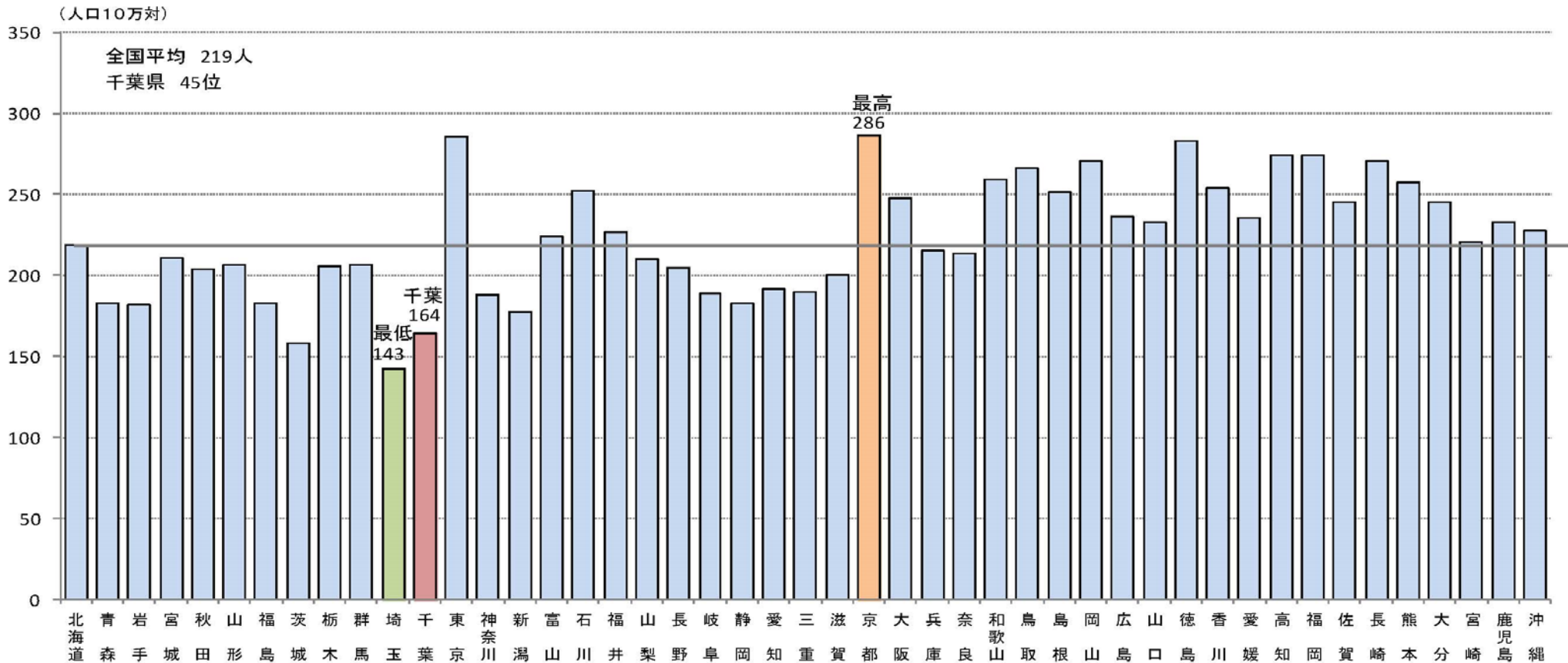
はじめに

- 「人口あたり医師数」という考え方は、超高齢社会で適切な指標か？

人口減少、医師数増加 → 人口あたり医師数増加

- 効果的な医師確保対策のターゲットは？

都道府県別人口10万対医療施設従事医師数



※千葉県の医療施設従事医師数は10,213人
出典:平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査

都道府県別人口10万対看護職員数合計

(人口10万対)

全国平均 1089人
千葉県 45位

最高
1,759

千葉
758
最低
737

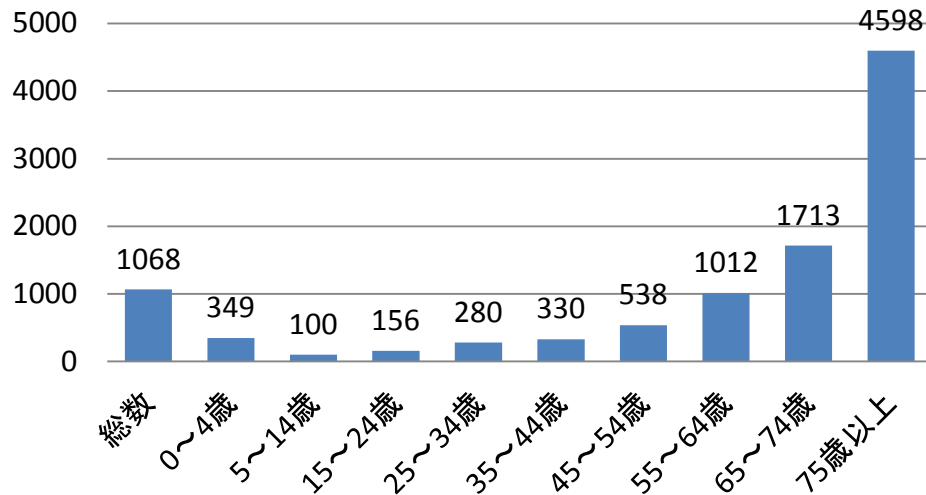
北海道 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜 静岡 愛知 三重 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山 鳥取 島根 岡山 広島 山口 徳島 香川 愛媛 高知 福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿児島 沖縄

※千葉県の看護職員数は47,127人
出典:平成22年度衛生行政報告例



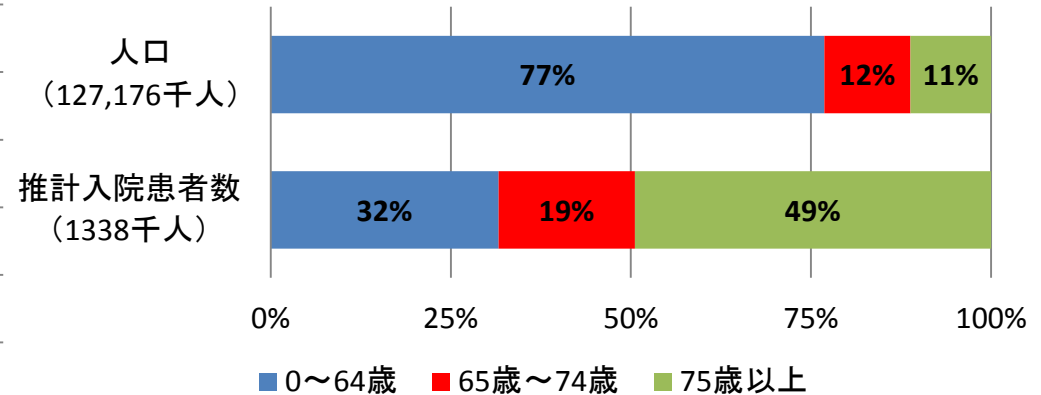
高齢者の医療需要

年齢階級別の人口10万人あたり
入院受療率



平成23年患者調査より作成

年齢区別の人口および
推計入院患者数の構成比



平成23年患者調査および国立社会保障・人口問題研究所「日本の都道府県別将来推計人口」(平成19年5月推計)より作成(推計入院患者数からは年齢不詳を除く)



人口10万人あたり医師数の不均等（2010年時点）

都道府県別の人口10万人あたり医師数（医療機関勤務）

	全人口		65歳以上人口あたり		75歳以上人口あたり	
最高	京都府	286	東京都	1,421	東京都	3,088
千葉県		164		774		1,843
最低	埼玉県	143	岩手県	669	岩手県	1,256
最高/最低の倍率		2.0 倍		2.1 倍		2.5 倍

二次保健医療圏別の人口10万人あたり医師数（医療機関勤務）

	全人口		65歳以上人口あたり		75歳以上人口あたり	
最高	東京都・区中央部	1,181	東京都・区中央部	6,286	東京都・区中央部	13,017
千葉県の最高	安房	371	千葉	1,179	千葉	3,017
千葉県の最低	山武長生夷隅	100	山武長生夷隅	378	山武長生夷隅	757
最低	愛知県・尾張中部	79	秋田県・北秋田	283	福島県・南会津	487
最高/最低の倍率		14.9 倍		22.2 倍		26.7 倍

平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査および株式会社ウェルネスによる二次医療圏データベースより作成



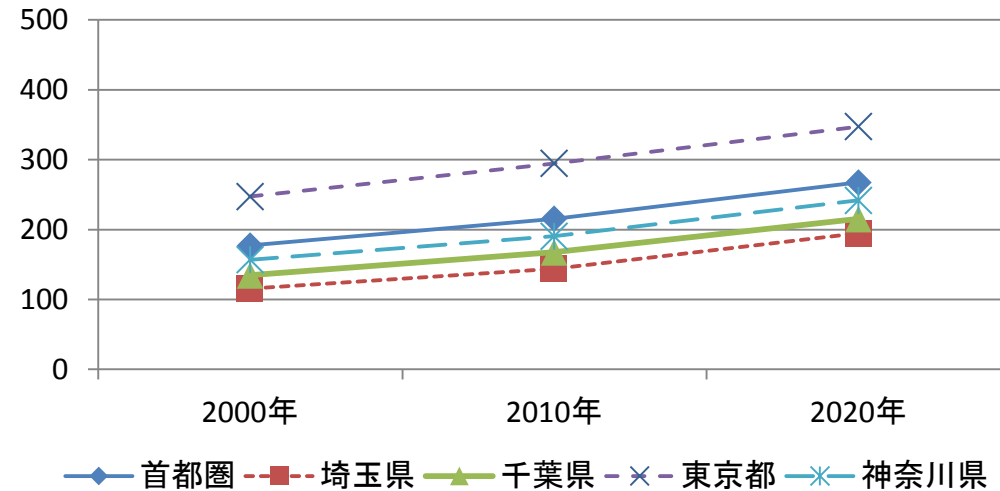
医師数の将来推計（1）

首都圏における医師数(医療機関勤務)

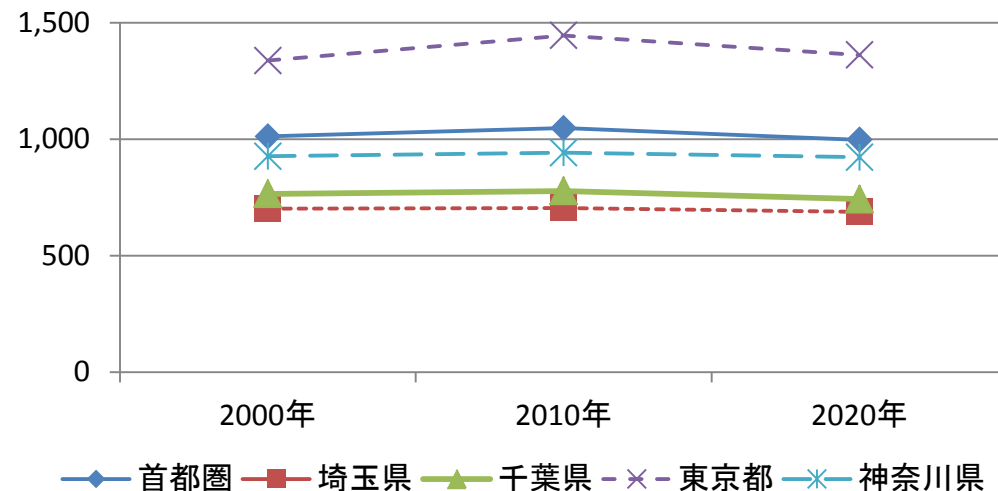
	単位: 100人		
	2000年	2010年	2020年
埼玉県	81	103	135
千葉県	81	103	129
東京都	307	382	455
神奈川県	137	171	217
首都圏	607	760	937

2000年、2010年は実数、2020年は推計値

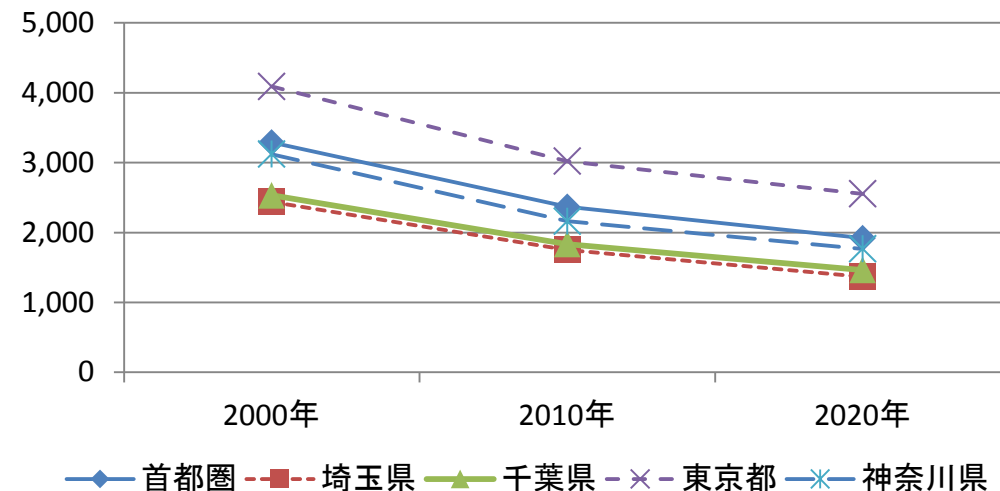
全人口10万人あたり



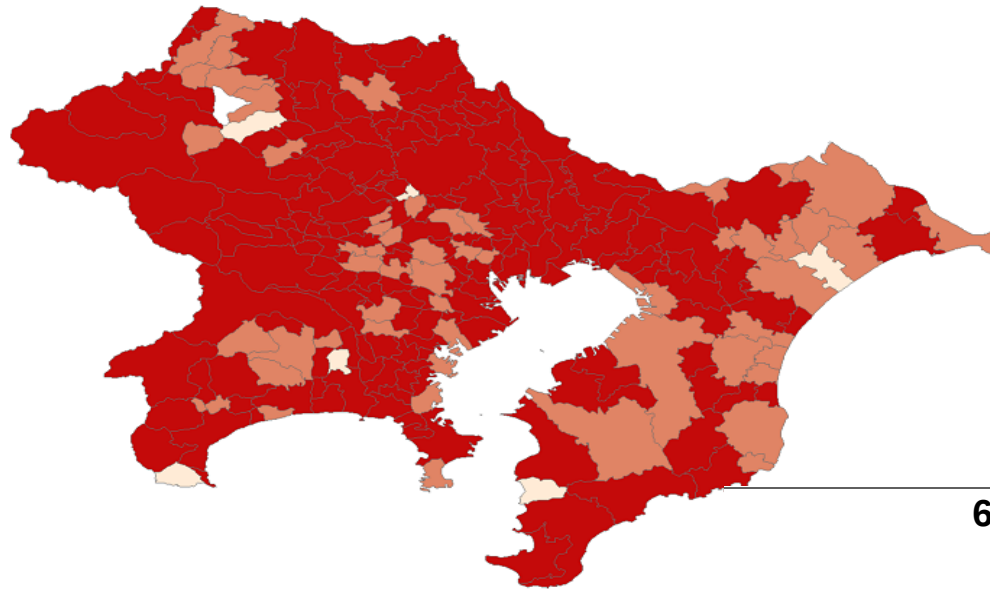
65歳以上人口10万人あたり



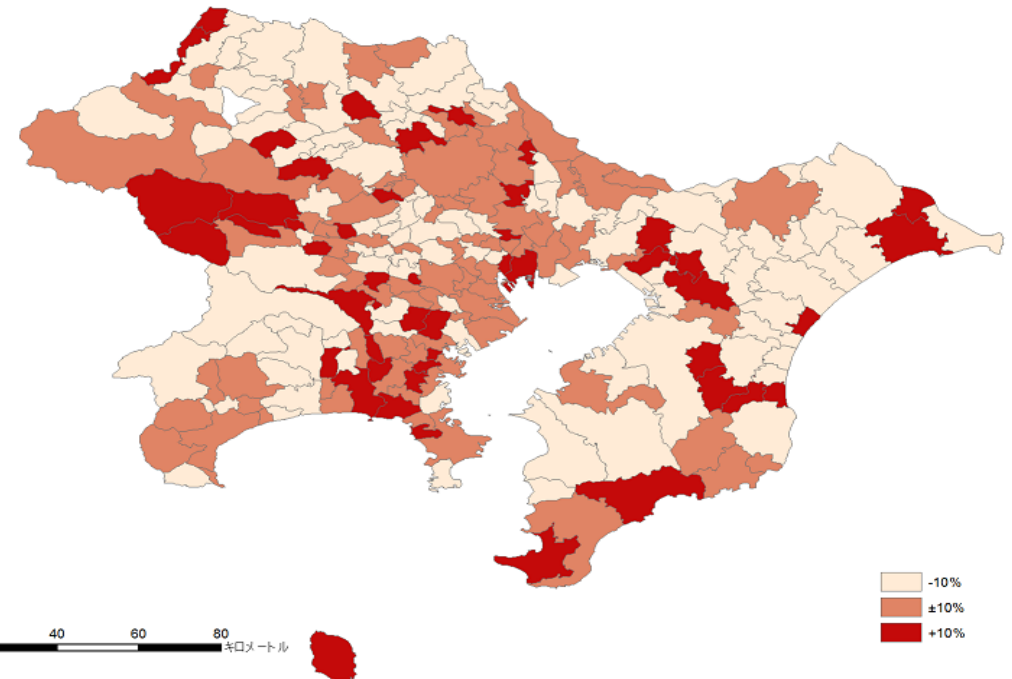
75歳以上人口10万人あたり



医師数の将来推計 (2)

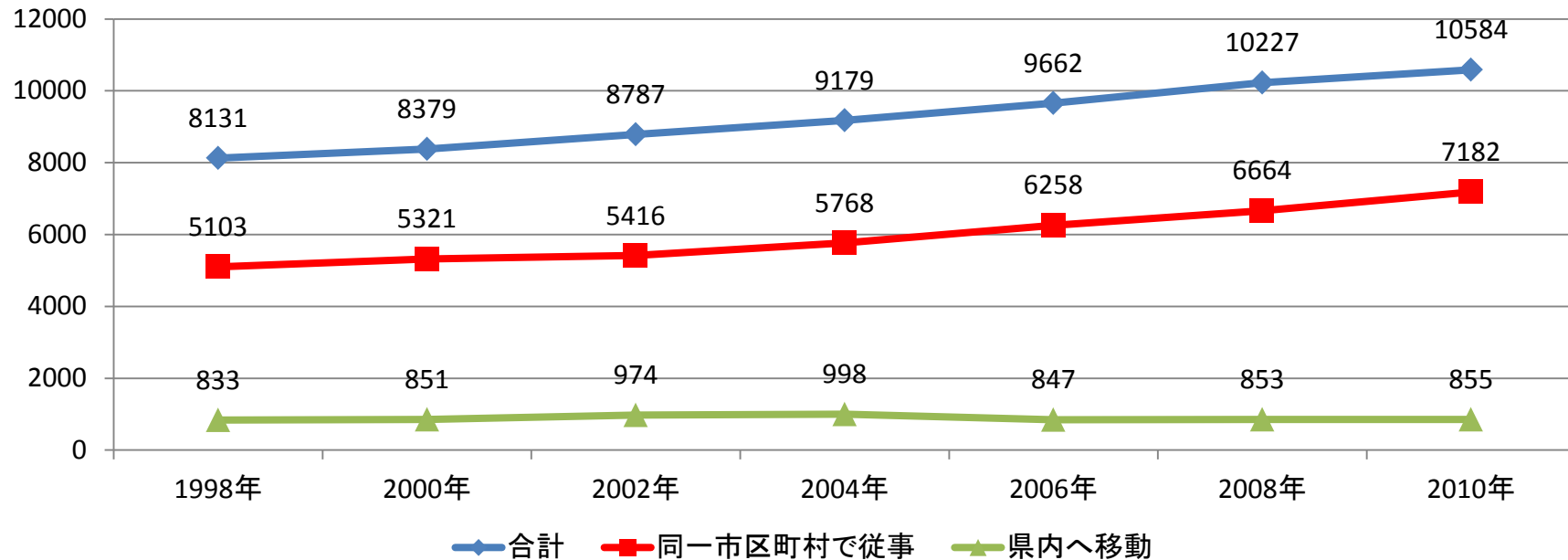


65歳以上人口10万人あたり医師数の増加率



医師の動態（1）

総数および県内の残留



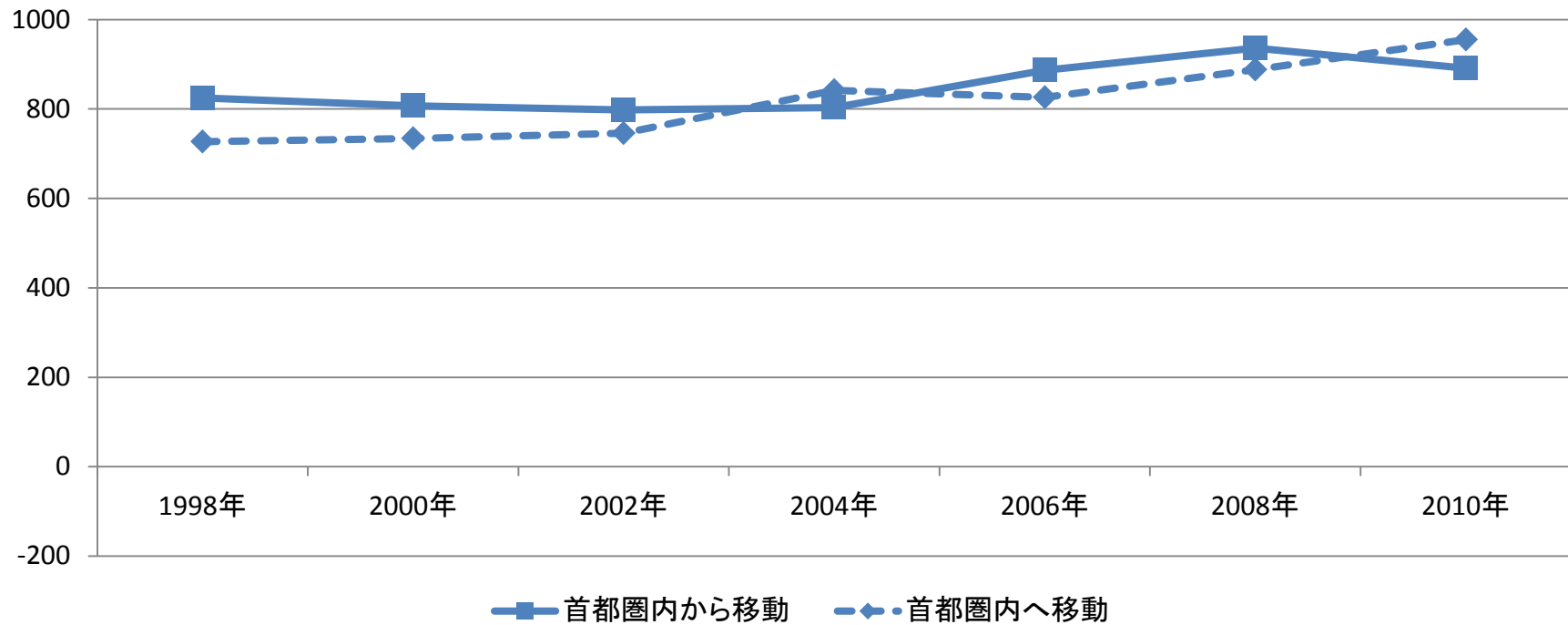
厚生労働科学研究費補助金 政策科学総合研究事業(統計情報総合研究)による成果

- 医師は医師法により現在では2年に一度「医師・歯科医師・薬剤師調査」(統計法に基づく一般統計調査)に届出を行う義務がある。
- この調査では、医師の主たる診療科、主たる業務内容、従事先医療機関の所在地・種別等を調べている。
- 上図はこの調査の個票に基づいて、2年前の調査からの従事先の所在地の変化を調べたものであり、動態把握のためにはこのようなデータ(縦断データ)が必要である。



医師の動態（2）

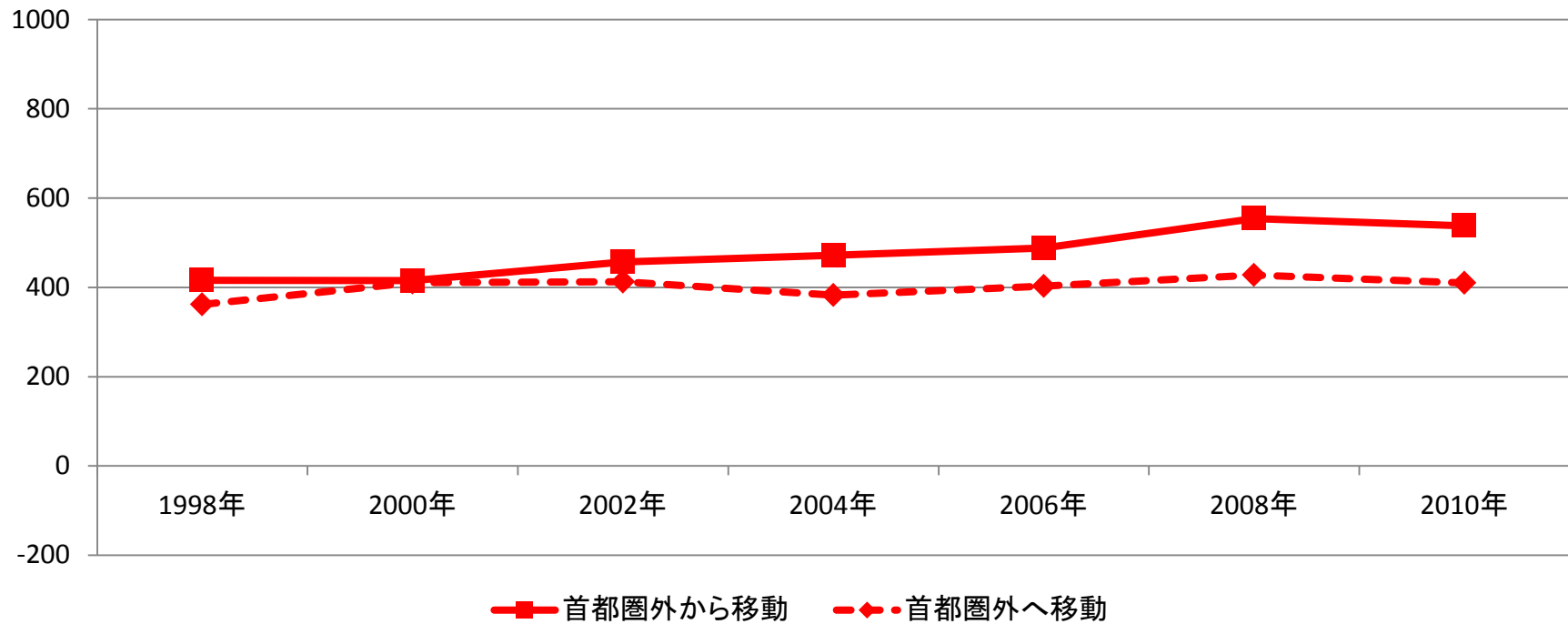
首都圏内との移動



※ここでは首都圏は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の一都三県

医師の動態 (3)

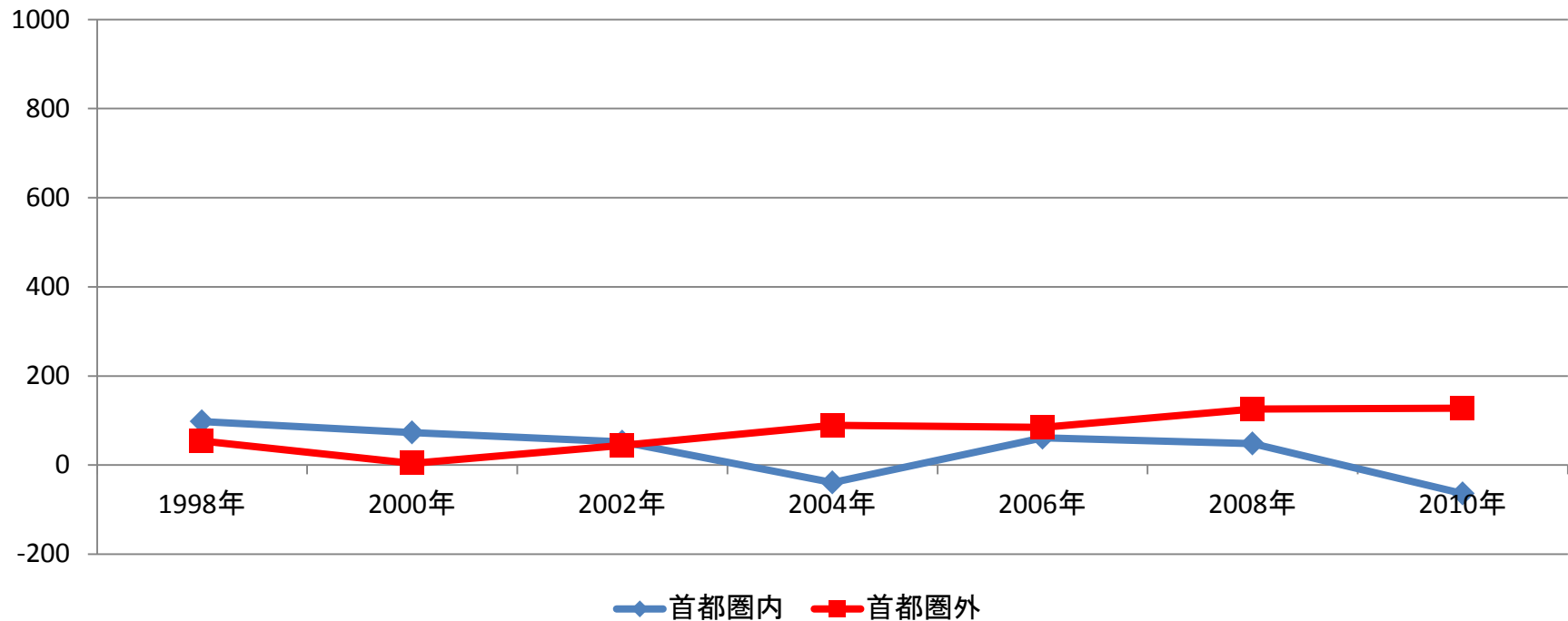
首都圏外との移動



※ここでは首都圏は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の一都三県

医師の動態 (4)

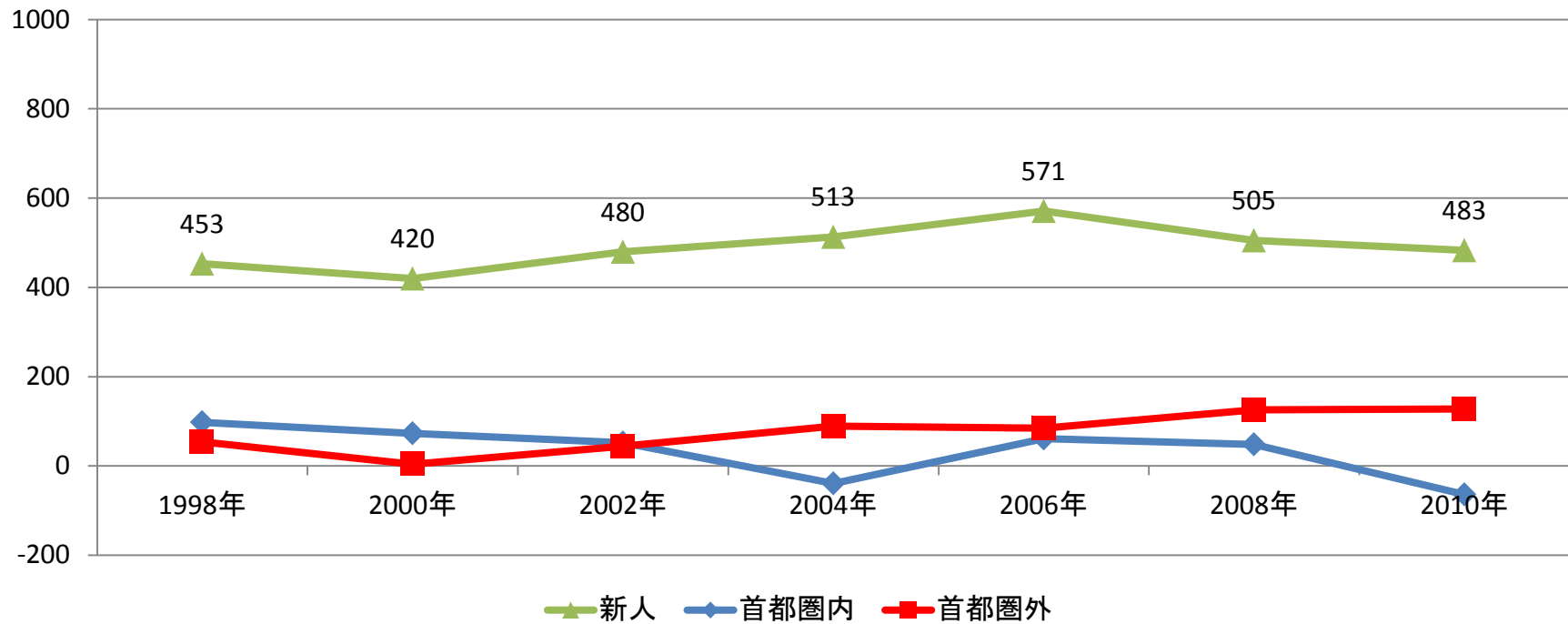
首都圏内外との移動の差し引き



※ここでは首都圏は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の一都三県

医師の動態 (5)

千葉県内の新人医師数



※ここでは首都圏は、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県の一都三県、首都圏内、首都圏外との移動の差し引きは再掲

看護職員は？

- 千葉県からの委託を受け、県内の看護職員を対象とした調査を実施。（昨年12月～本年1月）
- 医師・歯科医師・薬剤師調査での不足も考慮し、出身地、卒業学校の種別、労働力量、個人の生活上の出来事（結婚、出産など）についても質問。
- 県内には47千人程の看護職員が勤務しているが、このうち3千人程から回答。

まとめ

- 既存データを活用し、根拠に基づいた医師および看護職員の確保対策を立案する必要がある。
- 医師に関する検討
 - 人的資源（医師）の供給を全人口あたりだけで見ると、本当の需要を見落としているかもしれない。
 - 医師数の総数および人口あたり医師数は増加するが、高齢人口あたりの医師数はむしろ減少する。
 - 医師の動態は大きく、千葉県の場合には、首都圏外からの移動、新人の確保に注目すべきである。
- 看護職員について医師と同様の検討を行うためのデータ整備を開始した。
- 他の医療資源（人材、施設、機器など）を含めた可視化にも取り組む。